

令和5年度 教育訓練計画

北海道消防学校

北海道消防学校教育訓練計画

目 次

第1	基本方針	1
第2	消防職員に対する教育	1
第3	消防団員に対する教育	3
第4	MC関係特別教育	4
第5	自主防災組織等に対する教育	4
第6	教育訓練実施予定表	5
第7	教育科・課程別教科目表	
1	初任教育	
(1)	第152期	6
(2)	第153期	6
2	専科教育	
(1)	警防科	8
(2)	予防査察科	9
(3)	危険物科	10
(4)	火災調査科	11
(5)	救急科	12
(6)	救助科	13
3	幹部教育幹部科	14
4	特別教育	
(1)	ポンプ操法指導員課程	15
(2)	はしご自動車運用課程	15
(3)	都市型救助課程	16
(4)	水難救助課程	16
(5)	大規模災害広域応援指揮課程	17
(6)	指導者教養課程	18
(7)	ドローン講習	19
(8)	オフロードバイク講習	19
5	消防団員教育	
(1)	基礎教育	20
(2)	幹部教育指揮幹部科	21
(3)	特別教育女性団員課程	22
(4)	特別教育ドローン講習	22
(5)	特別教育オフロードバイク講習	22

6	MC 関係特別教育	
(1)	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士認定講習	・・・ 23
(2)	処置拡大2行為講習	・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

令和5年度 北海道消防学校教育訓練計画

第1 基本方針

消防職員及び消防団員に対し、消防の使命と責任を正しく理解させるとともに、住民から期待される消防人として必要な知識及び技術の習得、体力・気力の錬成、規律と協調精神の醸成と人格の向上を図り、創造と実行力をもって適切公正、安全かつ能率的に職務を遂行して公共の福祉の増進に寄与する近代的消防人を育成する。

第2 消防職員に対する教育(育成目標)

1 初任教育

新たに採用された消防職員に対し、消防職員として必要な基礎的知識、技術の習得及び安全管理について理解をさせるとともに、各種訓練を通じ厳正な規律の保持と旺盛な士気の高揚及び体力・気力の錬成を図り、即戦力として消防活動全般に対応できるよう育成する。

2 専科教育

(1) 警防科

消防職員に対し、警防行政や災害対策の現状と課題を理解させるとともに、各種災害態様を想定した実技訓練などを通じ、災害現場の指揮と安全管理、心身の健康管理など警防業務遂行上必要な専門的知識、技術を習得し、災害現場で指揮者(小隊長)として部隊を適切かつ効果的に指揮ができるよう育成する。

(2) 予防査察科

消防職員に対し、査察行政の現状と課題、防火管理、消防同意、違反処理等、予防査察業務遂行上必要な専門的知識、技術を習得するとともに、公正な査察の実施や重大な違反対象物に対する是正を指導できるよう育成する。

(3) 危険物科

消防職員に対し、危険物行政の現状と課題を理解させ、危険物施設の規制や立入検査など、危険物行政遂行上必要な専門的知識、技術を習得させるとともに、与えられた権限を正しく執行できるよう育成する。

(4) 火災調査科

消防職員に対し、火災調査業務に係る制度、火災の原因調査、火災・消火活動による損害調査、調査書類の作成要領など、火災調査業務遂行上必要な専門的知識、技術を習得させるとともに、これらを活用して火災調査業務を的確に遂行できるよう育成する。

(5) 救急科

消防職員に対し、救急業務及び救急医学に関する基本的な知識、応急処置、救急用資機材の取扱いなど、救急隊員として必要な専門的知識・技術を習得させるとともに、救急活動を的確にできるよう育成する。

(6) 救助科

消防職員に対し、各種災害に対応するため、厳しい環境下での旺盛な士気の高揚及び体力の錬成を図るとともに、救助活動遂行上必要な専門的で高度な技能及び技術を習得させ、これらを活用した応用力を発揮し、自らの安全を確保できるよう育成する。

3 幹部教育幹部科

幹部職員(原則として係長職にある者)に対し、人事業務管理、現場活動における安全管理、行財政など、幹部職員として責任と立場を正しく理解し、幅広い知識、技術を習得させるとともに、迅速かつ的確な意思決定により上司の補佐及び部下の指揮監督を行い、組織を管理運営できるよう育成する。

4 特別教育

(1) ポンプ操法指導員課程

消防職員に対し、消防ポンプ操法指導員として必要な知識、技術を習得できるよう育成する。

(2) はしご自動車運用課程

消防職員に対し、はしご自動車等の操作に必要なかつ基本となる安全管理など、はしご自動車等の操作に関する専門的知識、技術を習得させ、災害活動で安全かつ的確に活動できるよう育成する。

(3) 都市型救助課程

消防職員に対し、都市型救助に関する基礎理論、安全管理、都市型救助器具取扱など、都市型救助に必要な専門的知識、技術を習得させ、災害活動で安全かつ的確に活動できるよう育成する。

(4) 水難救助課程

消防職員に対し、水難救助器具取扱、救助活動、安全管理など、水難救助に必要な専門的知識、技術を習得させ、災害活動で安全かつ的確に活動できるよう育成する。

(5) 大規模災害広域応援指揮課程

消防職員に対し、指揮理論、部隊の安全管理、各種災害の指揮要領など、現場指揮者として必要な専門的知識・技術を習得させるとともに、大規模災害等の現場における広域応援活動時において適切に指揮できるよう育成する。

(6) 指導者教養課程

消防職員に対し、消防に関する教育指導技法、実科訓練の指導要領及び安全管理の高度な知識、技術を習得させるとともに、消防本部における教育訓練の指導者として、適切に指導できるよう育成する。

(7) ドローン講習

消防職員に対し、災害現場の状況を速やかに把握するため、情報収集活動資機材ドローンについての基礎的な知識、技術を習得させる。

(8) オフロードバイク講習

消防職員に対し、災害現場の状況を速やかに把握するため、情報収集活動資機材オフロードバイクについての基礎的な知識、技術を習得させる。

第3 消防団員に対する教育(育成目標)

1 基礎教育

消防団員に対し、消防の組織制度、火災防ぎよ、災害現場での安全確保など、消防団員として必要な知識・技術を習得させるとともに、地域防災の担い手としての任務を自覚するよう育成する。

2 幹部教育指揮幹部科

消防団員幹部に対し、幹部としての職責を自覚させ、火災防ぎよ、水災活動、救助救命、避難誘導及び情報収集・伝達に係る的確な現場指揮及び安全管理などの知識・技術を習得させるとともに、消防団の管理運営などに関する知識が深まるよう育成する。

3 特別教育

(1) 女性団員課程

女性消防団員に対し、住民に対する防火指導、防災教育、応急手当普及指導など、女性消防団員に期待される活動に必要な知識・技術を習得するとともに、地域防災の担い手としての任務を自覚するよう育成する。

(2) ドローン講習

消防団員に対し、災害現場の状況を速やかに把握するため、情報収集活動資機材ドローンについての基礎的な知識、技術を習得させる。

(3) オフロードバイク講習

消防団員に対し、災害現場の状況を速やかに把握するため、情報収集活動資機材オフロードバイクについての基礎的な知識、技術を習得させる。

4 現地教育訓練(職員派遣)

市町村等が実施する消防団員を対象とした訓練に、学校職員が現地に赴き、消防団員に必要な知識、技術を習得させ、実施主体が掲げる目標に寄与する。

第4 MC関係特別教育(育成目標)

1 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士認定講習

北海道救急業務高度化推進協議会が定める「ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士認定講習カリキュラム」に基づき、救急救命士に知識、技術を習得させるとともに、現場活動において適切に実施できるよう育成する。

2 処置拡大2行為講習

北海道救急業務高度化推進協議会が定める「処置拡大2行為講習カリキュラム」に基づき、救急救命士に知識、技術を習得させるとともに、現場活動において適切に実施できるよう育成する。

第5 自主防災組織等に対する教育

町内会や女性防火クラブ等、地域における防災リーダーを担う者に対し、消防・防災に関する知識を理解させ、防災意識の高揚が図られるよう各種教育訓練を行う。

第6 教育訓練実施予定表

教育・科・課程名		期間	教育期間	定員	全日数	教育 実日数	教育 時間数	国の 基準	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
消防職員 に対する 教育	初任教育※1	前期(第152期)	20週	5.10(水)～9.22(金)	120	136	95	800	800		10				22										
		後期(第153期)	21週	10.17(火)～3.8(金)		144	95	800									17					8			
	専科教育	警防科	2週	4.10(月)～4.21(金)	36	12	10	72	70	10	21														
		予防査察科	2週	12.12(火)～12.21(木)	40	10	8	56	70									12	21						
		危険物科	5日	9.25(月)～9.29(金)	40	5	5	40	35							25	29								
		火災調査科	第1回	2週	7.24(月)～8.4(金)	40	12	10	80	70				24	4										
			第2回	2週	11.6(月)～11.17(金)																6	17			
		救急科※2	第1回	4週	8.21(月)～9.15(金)	60	26	20	250	250						21	15								
			第2回	4週	1.15(月)～2.9(金)																			15	9
	救助科※3	3週	4.10(月)～4.28(水)	42	19	15	140	140	140	10	28														
幹部教育	幹部科	2週	5.30(火)～6.8(木)	48	10	8	56	—			30	8													
特別教育	ポンプ操法指導員課程	—	休止	—	—	—	24	—																	
	はしご自動車運用課程※4	4日	5.23(火)～5.26(金)	36	4	4	24	—			23	26													
	都市型救助課程	—	休止	—	—	—	26	—																	
	水難救助課程	5日	6.19(月)～6.23(金)	16	—	5	32	—					19	23											
	大規模災害 広域応援指揮課程 (札幌市と連携開催)	2週	11.27(月)～12.7(木)予定	20	11	10	70	—									27	7							
	指導者教養課程	5日	6.26(月)～6.30(金)	8	5	5	32	—					26	30											
	ドローン講習	—	休止	—	—	—	7	—																	
	オフロードバイク講習	—	休止	—	—	—	7	—																	
消防団員教育	基礎教育	4日	2.19(月)～2.22(木)	50	3	3	24	24											19	22					
	幹部教育指揮幹部科	3日	3.5(火)～3.7(木)	50	3	3	22	—												5	7				
	特別教育	女性団員課程	—	休止	—	—	—	16	—																
		オフロードバイク講習	—	休止	—	—	—	7	—																
消防職員 に対する 教育	MC関係特別教育	ビデオ硬性挿管用 喉頭鏡認定講習	第1回	1日	7.27(木)	24	1	1	8	—															
			第2回	7.28(金)																					
			第3回	11.9(木)																	9				
			第4回	11.10(金)																	10				
	処置拡大二行為講習	第1回	4日	5.16(火)～5.19(金)	24	4	4	32	—																
		第2回	6.27(火)～6.30(金)																						
		第3回	7.11(火)～7.14(金)																						
		第4回	8.1(火)～8.4(金)																						
		第5回	11.14(火)～11.17(金)																						
		第6回																							

※1 初任教育の教育時間数については、所属での事前研修24時間、消防学校での集合教育を776時間とし実施する。
 ※2 専科教育救急科については、所属での事前研修(リモート講義等)を96時間、消防学校での集合教育を154時間とし実施する。
 ※3 専科教育救助科については、所属での事前研修28時間、消防学校での集合教育を112時間とし実施する。
 ※4 特別教育はしご自動車運用課程については、札幌市と共同開催を検討中である。

第7 教科・課程別教科目表

1 初任教育

(1) 第152期

自 令和5年 5月10日(水)
至 令和5年 9月22日(金) (136日間)

(2) 第153期

自 令和5年10月17日(火)
至 令和6年 3月 8日(金) (144日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数		教育予定講師
			第152期	第153期	
倫理	地域社会と消防	消防の本質と消防職員の任務・自治体消防の沿革と基本	3	3	学校職員
	消防職員の使命	消防の社会的使命と責任 公務員倫理			
法学基礎・消防法	法制通論	法の運用と解釈・分類	6	6	部外講師
	消防法	目的と用語の定義・主要規定の概要	10	10	学校職員
	効果測定		1	1	
消防組織制度	地方自治・自治体消防制度	意義・沿革・法体系	10	10	学校職員
	消防の組織	組織・責任・財政・他機関との関係			
	効果測定		1	1	
服務と勤務	地方公務員制度	基本理念、種類と任用・離職、義務と責任、権利	6	6	学校職員
	消防実務	組織、勤務形態と条件、業務内容	8	8	
	文書実務・情報公開と個人情報	文書の形式と作成要領、情報公開と個人情報保護制度	2	2	
	接遇・人権啓発	基礎知識・電話や来訪者への対応・人権問題	4	4	部外講師
	事故防止	交通安全	1	1	学校職員
	効果測定		1	1	
理化学	物理	力の性質と運動、固体・液体・気体の性質・物体の熱的性質	6	6	学校職員
	化学	物質の構造、一般的法則、変化、化学式と反応熱			
	電気	基礎知識、送配電、屋内配線	6	6	
	燃焼と消火	基礎知識、建物火災の燃焼現象、消火理論と消火剤			
	効果測定		1	1	
小計			66	66	
予防広報	防火管理	防火管理の意義・制度、共同防火管理制度	8	8	学校職員
	消防広報	概念、広報と広聴活動、災害現場広報、広報と人権	6	6	
	自主防災	自主防災組織の意義と活動、防災活動指導実施要領	2	2	部外講師
	効果測定		1	1	学校職員
消防用設備・危険物	危険物規制	消防法上の危険物、危険物施設の規制、指定可燃物等	8	8	学校職員
	消防用設備等の規制概要	規制概要、主な基準概要、着工届と検査等	10	10	
	効果測定		1	1	
査察	査察・違反処理	総則、査察要領、違反処理、定期点検報告制度、査察実習	16	16	学校職員
	火災予防条例	火気規制、避難管理等	4	4	
	効果測定		1	1	
建築	建築	総則、建築構造、建築法令、消防活動上の規則、建築図書	10	10	学校職員
	効果測定		1	1	
安全管理	安全管理	概要、業務活動別の安全管理	12	12	学校職員
	危険予知トレーニング	図上訓練	4	4	
	精神衛生(メンタルヘルス)	ストレスと心の健康	2	2	部外講師
	効果測定		1	1	学校職員
特殊災害と保安・火災防ぎよ	特殊災害と保安	概説、基礎知識と活動要領、ガス・毒劇物・火薬等	6	6	学校職員
	放射性物質災害	放射性物質の特性、事故対策			
	火災防ぎよ活動	概要、行動、建物火災防ぎよ、建物以外の火災防ぎよ	16	16	
火災調査	効果測定		1	1	学校職員
	火災原因調査要領	原因調査、損害調査、調査書類等	12	12	
防災	災害対策	災害対策基本法、防災組織と責任、防災計画	4	4	部外講師
	気象と災害	基礎知識、注意報・警報、水災、台風、土砂災害	4	4	
	水災防ぎよ	水防責任、水防時の出動と水防工法	4	4	学校職員
	地震対策	基礎知識、震災対策、地震時の活動要領	2	2	部外講師
	効果測定		1	1	学校職員
	救急	救急業務概要と活動要領	総論、人体知識、応急処置、応急手当普及啓発	12	12
効果測定			1	1	
消防機械・ポンプ	消防機械・消防ポンプ	消防用自動車、通信、ポンプ、水力学、ポンプ運用	12	12	学校職員
	効果測定		1	1	
小計			164	164	

訓練礼式	訓練礼式の概要	各個訓練、辞令等の受領、部隊訓練、申告等	38	40	学校職員
	通常点検		5	5	
	効果測定		4	4	
消防活動訓練	消防活動訓練(放水系)	ポンプ運用、放水、検索及び救出、警戒区域設定、現場広報等	32	32	学校職員
	消防活動訓練(一般系)		16	16	
	実火災対応訓練(AFT)		22	22	
	水防活動訓練		4	4	
救助訓練	救助操法	救助活動の意義、降下・登はん・渡過・確保操法	26	26	学校職員
	結索訓練	ロープの基礎知識、結索要領、渡過・懸垂ロープ設定要領	22	22	
機器取扱訓練	消防機器取扱訓練	各種資器材の諸元・性能・取扱要領	24	24	学校職員
	はしご訓練	三連はしごの取扱要領、操法	30	30	
	空気呼吸器訓練	空気呼吸器の取扱要領、操法	30	30	
消防活動応用訓練	消防活動応用訓練(AFT)	消火・救助活動訓練、火災・救急救助総合想定訓練	50	50	学校職員
	山岳活動訓練		8	8	
	実科査閲訓練		40	40	
救急	救急実技訓練	胸骨圧迫法、人工呼吸法 AED取扱要領	12	12	学校職員
体育	運動理論	体力づくり、運動生理、トレーニング計画・要領・実践	2	2	学校職員
	消防体育理論	消防に特化した体力錬成法、ストレッチ法等	8	8	部外講師
	消防体育	筋力トレーニング、ランニング、サーキットトレーニング、球技等	12	14	学校職員
	体育行事	ロードレース、体育大会	16	20	
小計			401	409	
実務研修	消防署勤務実習		16	16	
選択研修	クラブ活動		8	10	学校職員
	防災航空隊研修		4	4	
	操法大会支援		14	—	
	災害対応訓練		8	8	
	第3級陸上特殊無線技士		8	8	
	学生企画訓練(実践的な訓練)		4	8	
	事前研修		24	24	
その他		13	13		
体力測定	体力測定		12	12	学校職員
実科査閲	実科査閲		4	4	
その他	入校式、卒業式		4	4	
	諸準備		2	2	
	学生心得		7	7	
	個人面談		6	6	
	オリエンテーション		4	4	
	環境整理		8	8	
	出動訓練		3	3	
業務活動		20	20		
小計			169	161	
合 計			800	800	

2 専科教育

(1) 警防科

自 令和5年 4月10日(月)

至 令和5年 4月21日(金) (12日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
倫理	講話	職務と心構え	1	学校職員
防災	関係法令と国民保護計画	武力攻撃事態における国民保護に係る消防の役割 防災に係る主要通知の内容	1	学校職員
特殊災害対策	特殊災害対策の基礎知識及び消防活動要領	生物剤・化学剤物質災害	2	部外講師
警防対策	警防行政の現状と課題	緊急消防援助隊の概要と部隊運用の実際	2	部外講師
消防戦術と安全管理	災害現場の指揮	情報収集要領	2	部外講師
		指揮命令伝達要領		
		災害現場広報要領		
現場指揮要領と安全管理	建物火災 訓練時の安全管理 多数傷病者発生事故	2	学校職員	
		2		
		2		
図上訓練	図上訓練	シミュレーション訓練	8	学校職員
実技訓練	実技訓練企画立案	実技訓練の目的と実施要領	45	学校職員
	実技訓練	PDCAを用いた実践的な想定訓練 実火災対応訓練(AFT) 学生企画による総合想定訓練		
		検証		
事例研究	実務研究課題検討	消防戦術事例	2	学校職員
		特異災害事例		
		安全管理事例		
		警防行政事例		
		訴訟事例		
健康管理	精神衛生	惨事ストレス対策	1	部外講師
効果測定	効果測定		1	学校職員
行事その他	式典	入校式、修了式	3	学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			72	

(2) 予 防 査 察 科

自 令和5年12月12日(火)

至 令和5年12月21日(木) (10日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師	
予防査察行政の現状と課題		予防査察行政の現状と課題 消防関係法令の改正内容	1	部外講師	
消防同意	消防同意の概要	建築行政と消防行政の関係 消防同意制度	2	部外講師	
		防火に関する建築規制 消防同意の要領と留意事項	2	学校職員	
査察	査察要領	防火対象物の用途別の危険性 建築物の構造規制と査察着眼点 火気使用設備・器具の査察着眼点 電気設備の査察着眼点	2	学校職員	
		防火管理制度の概要と査察着眼点 消防用設備等の構造機能と査察着眼点	4 12	部外講師	
		少量危険物施設の査察着眼点 指定可燃物施設の査察着眼点 火気規制	1	学校職員	
		違反処理の概要	違反処理の意義、必要性及び行政指導	1	学校職員
		違反処理	違反処理の手続き	警告 命令 許可の取消し等 告発 代執行	4
危険物取扱者及び消防設備士に対する行政措置	危険物取扱者免状の返納命令に関する運用基準 消防設備士免状の返納命令に関する運用基準			1	
査察実習		建築・設備図書の見方 防火対象物の査察・危険物施設の査察 各種書類作成 結果検証	17	学校職員 部外講師	
事例研究	実務研究課題討議	違反処理事例 査察事例・災害事例 消防用設備設置指導事例	6	学校職員	
効果測定	効果測定		1	学校職員	
行事その他	式典	入校式、修了式	2	学校職員	
	その他	学生心得、オリエンテーション			
合 計			56		

(3) 危険物科

自 令和5年 9月25日(月)

至 令和5年 9月29日(金) (5日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
危険物行政の 現状と課題		危険物行政の現状と課題 消防関係法令の改正内容	1	部外講師
	危険物化学	各危険物の概要	総論 危険物判定の実施要領	4 4
		指定可燃物の貯蔵・取扱い 消防活動阻害物質の貯蔵・取扱い	液化石油ガス・高圧ガスの保安対策	2
危険物規制	製造所等に対する規制 と査察要領	製造所等の保安管理に関する査察着眼点 製造所等の位置・構造・設備に関する査察着眼点 製造所等の貯蔵・取扱いに関する査察着眼点 危険物施設ごとの査察着眼点	6	学校職員
危険物規制	危険物施設の規制	危険物規制の概要 危険物施設の設置・変更 危険物施設の保守管理と保安制度 危険物事業所の保安制度	3	学校職員
	危険物施設の位置・構 造・設置の基準	通則 危険物施設ごとの基準	3	学校職員
	危険物の貯蔵・取扱い・ 運搬・移送の基準	通則 貯蔵・取扱い・運搬・移送の基準		
	許認可事務	許認可の手続き 書類の審査 設備図書の見方	4	部外講師
	違反処理	危険物施設に対する措置命令	4	部外講師
	保安管理	保安管理と事故対策	2	部外講師
	少量危険物・指定可燃物	貯蔵取扱の基準	1	学校職員
事例研究	実務研究課題討議	危険物規制実務事例 違反処理事例 災害事例	3	学校職員
効果測定	効果測定		1	学校職員
行事その他	式典	入校式、修了式	2	学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			40	

(4) 火災調査科

第1回

自 令和5年 7月24日(月)

至 令和5年 8月 4日(金) (12日間)

第2回

自 令和5年11月 6日(月)

至 令和5年11月17日(金) (12日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
原因調査・関係法規	消防法関係	原因調査の責任と権限	2	学校職員
		放失火捜査と原因調査 消防及び警察の協力	2	部外講師
	原因調査に係る関係法規等	情報公開 訟務対応 製造物責任法	2	部外講師
原因調査	原因調査の内容	原因調査の項目 原因調査の手段	2	学校職員
	原因調査の進め方	燃焼理論と火災の特性 現場調査の進め方 焼けの強弱と方向性の観察		
	原因調査の要領	電気火災の原因調査要領	12	学校職員
		燃焼機器の原因調査要領		
		車両火災の原因調査要領		
		延焼拡大要因の調査要領		
		死傷者発生時の現場調査要領		
微小火源火災の原因調査要領	4	部外講師		
放火火災の原因調査要領	4	部外講師		
化学火災の原因調査要領	4	部外講師		
損害調査	損害調査の内容	損害の種別と損害調査項目 燃焼程度とり災程度 火災による死傷者	4	部外講師
		損害調査の進め方 現場調査の進め方 損害額の評価と算出		
	鑑識	鑑識要領	4	学校職員
鑑定	鑑定の概念 鑑定の実施要領	2	部外講師	
調査実習	模擬火災調査	16	学校職員	
調査書類	調査書類の作成要領	4	部外講師	
	調査書類実技	12	学校職員	
事例研究	実務研究課題検討	特異火災事例 調査書類の作成事例 訴訟事例	4	学校職員
効果測定	効果測定		1	学校職員
	調査実習結果検証		3	学校職員
行事その他	式典	入校式、修了式	2	学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			80	

(5) 救急科

第1回

自 令和5年 8月21日(月)

至 令和5年 9月15日(金) (26日間)

第2回

自 令和6年 1月15日(月)

至 令和6年 2月 9日(金) (26日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
救急業務及び救急医学の基礎	救急医学概論	救急医学概論	25	部外講師
	救急業務の総論	沿革、意義、隊員の責務		学校職員
	社会保障・社会福祉	概念、関係法規、社会福祉体制、医療保険		部外講師
	救急実務及び関係法規	死亡判断と現場保存、安全管理、通信システム及びその運用、活動の基礎的事項、活動の記録、救急業務の関係法規		部外講師 学校職員
応急処置の総論	観察	総論、バイタルサインの把握、全身・局所所見の把握、傷害の受傷機転、既往症等の聴取	54	部外講師 学校職員
	応急処置総論	心肺蘇生、止血、被覆、固定、保温、体位管理、搬送		学校職員
	応急処置各論	気道確保、異物除去、人工呼吸、胸骨圧迫心マッサージ(人工呼吸との併用を含む) 酸素吸入、直接圧迫及び間接圧迫による止血、被覆、副子固定、在宅療法継続中の傷病者搬送時における処置の維持、保温、体位管理、各種搬送、救出		部外講師 学校職員
	救急医療・災害医療	多数傷病者対応		部外講師 学校職員
病態別応急処置	MC体制 応急処置の実際	原因、病態生理、病態の把握、応急処置、病態の評価	32	部外講師 学校職員
特殊病態別応急処置	分娩介助 新生児蘇生	産婦人科及び周産期の基礎的事項、救急と関連する産婦人科疾患、分娩の介助、分娩直後の新生児の管理	7	部外講師 学校職員
実習及び行事	実習及び行事	救急用資器材の操作法、保管管理・消毒、シミュレーション実習、医療機関及び現場における実地研修 入校式・修了式、その他の行事	36	学校職員
WEB講義	解剖・生理	総論及び身体各部の名称 循環器、呼吸器、消化器、脳・神経、細胞・体液・血液、皮膚・骨格・筋肉、内分泌、泌尿・生殖器、感覚器	76	部外講師
	観察・検査	心電図モニター 院内の検査		部外講師
	応急処置各論	車内看護		部外講師
	救急医療・災害医療	救急医療体制 ドクターヘリ		部外講師
	病態別応急処置	心肺停止、MC体制、ショック、循環不全、意識障害、外傷病院前救護、多発外傷、頭部・顔面・胸部・腹部外傷、四肢・脊椎損傷、異物(気道・消化管)、循環器・呼吸器・泌尿器疾患、急性腹性、脳血管疾患、		部外講師
	特殊病態別応急処置	小児、新生児、高齢者、中毒・溺水、産科・周産期、精神障害・自殺予防対策 耳鼻咽喉科疾患、熱傷・電撃傷 感染症対策、アナフィラキシー その他の創傷の処置等		部外講師
事前訓練			20	学校職員
合 計			250	

(6) 救 助 科

自 令和5年 4月10日(月)

至 令和5年 4月28日(金) (19日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
	講話	職責と心構え・現場指揮理論	2	部外講師
	救助理論	救助活動の現状と課題	2	部外講師
安全管理	概要	安全管理に係る関係法令	1	学校職員
	救助活動における安全管理	救助活動における安全管理の要点	2	学校職員
		火災時における救助隊の役割と安全管理の要点		
	メンタルサポート	惨事ストレス対策	2	部外講師
安全衛生管理	パワーハラスメント対策	2	学校職員	
災害救助対策	概要	救助業務関係法令	1	学校職員
	救助対策と活動事例	救助活動事例と対策	2	部外講師
		航空機活用	2	部外講師
		緊急消防援助隊の活動要領	2	学校職員
		山岳救助活動	2	部外講師
救 急	多数傷病者発生時の処置	多数傷病者発生時の対応要領	2	学校職員
救助訓練	高所救助	はしご活用による救助	25	学校職員
		地物活用による救助	2	
	低所救助	はしご活用による救助	12	
		槽内救助	4	
	火災救助	濃煙内検索救助(AFT)	8	
	地震時における救助	座屈建物・倒壊建物からの救助	8	
交通事故救助	衝突・下敷き・横転事故の救助	7		
総合訓練	想定訓練	図上訓練	2	部外講師
		高所・低所救助	14	学校職員
効果測定	学科考査		1	学校職員
	実科考査		4	
行事・その他	式典	入校式・修了式	3	学校職員
	その他	オリエンテーション・学生心得		
事前研修			28	学校職員
合 計			140	

3 幹部教育幹部科

自 令和5年 5月30日(火)

至 令和5年 6月 8日(木) (10日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
講話	組織管理	幹部としての責務と心構え	1	学校職員
訓練礼式	部隊訓練	指導要領	1	学校職員
人事業務管理	消防行財政	消防行政の現状と課題・消防財政	2	部外講師
	消防広報	災害現場における報道対応	1	部外講師
	災害気象情報の活用	風水害対策	1	部外講師
		地震・津波対策	1	部外講師
	指導理論	コーチング技術	2	部外講師
	女性活躍推進	現状と課題	2	部外講師
	プレゼンテーション技法	プレゼンテーションのあり方	4	部外講師
	部下指導	部下指導のポイント	1	学校職員
	ハラスメント対策	ハラスメントの理解と対応	1	学校職員
	コミュニケーション技法	コミュニケーションのあり方	4	部外講師
	性的マイノリティへの理解	現状と課題	2	部外講師
	教育技法	指導技術	2	部外講師
	職員管理	ASD・ADHDへの理解と対応	2	
	消防団活性化対策	消防団と地域防災	2	部外講師
惨事ストレス対策	概要	メンタルサポート	2	部外講師
現場指揮	防災航空隊の活用	防災航空隊との連携活動	2	部外講師
	現場指揮	現場指揮者の心構えと任務	2	部外講師
		現場指揮本部の重要性と効果 現場指揮要領と安全管理		
	指揮隊運用訓練	災害活動時における指揮活動(AFT)	8	部外講師
災害図上訓練		4		
事例研究	事例研究課題討議	部下指導と組織管理	7	学校職員
行事その他	式典	入校式、修了式	2	学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			56	

4 特別教育

(1) ポンプ操法指導員課程

休 止

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
ポンプ操法	ポンプ車操法	手びろめによる二重巻きホース一線延長	5	学校職員
	小型ポンプ操法	手びろめによる二重巻きホース一線延長		
行事その他	式典	入校式・修了式	1	
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			6	

(2) はしご自動車運用課程

自 令和5年 5月23日(火)

至 令和5年 5月26日(金) (4日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
取扱基本理論	安全管理	現場の安全管理	2	部外講師
		安全管理のポイント	4	学校職員
	取扱基本理論	取扱基本理論	3	部外講師
特殊装置の構造	特殊装置について			
実技訓練	基本操作・取扱基本理論	車体設定・はしご操作・バスケット操作要領	5	部外講師 学校職員
	応用操作	部署位置決定要領	3	
		バスケット操作時の架てい進入要領		
		架てい障害への対応要領		
		架てい目標の変更等		
故障と対策	故障の発見と対策・応急措置	2	部外講師	
点検・整備	整備・点検要領	2		
効果測定	効果確認		1	学校職員
行事その他	式典	入校式、修了式	2	学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			24	

(3) 都市型救助課程

休 止

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
安全管理	安全管理総論	救助活動時における安全管理	1	学校職員
		都市型救助資機材の特性	2	
基礎理論	都市型救助基礎理論	倍力効果	2	部外講師
基本訓練	都市型救助資機材基本取扱	スタティックロープ基本結索	2	学校職員
		支点・支持点設定	2	
		資機材取扱訓練	2	部外講師
		メイン・バックアップ設定訓練	2	
		倍力効果の作成	2	
救助訓練		進入・引き上げ	4	部外講師 学校職員
想定訓練	高所・低所救助	一箇所吊り救助	4	
行事・その他	式典	入校式・修了式	3	学校職員
	環境整理	環境整理		
	その他	オリエンテーション・学生心得		
合 計			26	

(4) 水難救助課程

自 令和5年 6月19日(月)

至 令和5年 6月23日(金) (5日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
安全管理	救助活動と安全管理	現場の安全管理	3	部外講師
		安全管理のポイント		
		水難救助事案		
潜水救助対策	潜水救助対策と事例	潜水救助活動の基本	2	学校職員
		各種検索活動について		
		各種救助対策と事例		
潜水理論	潜水業務の基本	基礎知識、潜水の物理学	3	部外講師
		高気圧障害		
		潜水事故事例		
流水救助訓練	流水救助の基本	流水の基礎知識	6	
		流水における救出要領		
		流水救助資器材取扱要領		
潜水基本訓練	スキンドайビング	水中泳法(各種) 素潜りインターバル	3	部外講師 学校職員
	スクーバダイビング	暗黒内潜水、妨害排除訓練 展示要領	3	
潜水応用訓練	応用検索訓練	各種検索方法 アンカー設定要領 各種作業要領	8	部外講師 学校職員
	水没車両対応訓練	車内検索要領 救出要領 各種作業要領		
溺者対策訓練	着衣泳	水難事故の現況	2	部外講師
		溺水に関する基礎知識		
		着衣泳(uitemate)の実践		
行事・その他	式典	入校式・修了式	2	学校職員
	その他	オリエンテーション・学生心得		
合 計			32	

(5) 大規模災害広域応援指揮課程

自 令和5年11月27日(月)

至 令和5年12月 7日(木) (11日間) 予定

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
講話			1	札幌市消防局職員
現場指揮		現場指揮者の心構えと責務	1	札幌市消防局職員
		現場指揮要領	2	
事例研究		災害事例	2	札幌市消防局職員
理化学		燃焼性状の特性	1	札幌市消防局職員
広域応援・緊急消防援助隊		広域消防応援体制	2	札幌市消防局職員
図上訓練		広域応援図上訓練	2	札幌市消防局職員
		指揮シミュレーション	14	
実火災体験訓練		実火災体験訓練	7	札幌市消防局職員
実務研修		指揮隊同乗研修	28	札幌市消防局職員
課題研究		研修の振り返り・ディスカッション	5	札幌市消防局職員 学校職員
行事その他		オリエンテーション・入校式	2	札幌市消防局職員 学校職員
		環境整理・修了式	3	
合 計			70	

(6) 指導者教養課程

自 令和5年 6月26日(月)

至 令和5年 6月30日(金) (5日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
教育技法	教育技法	教育指導技法の要点	2	学校職員
	ハラスメント対策	ハラスメントの防止	2	
安全管理	安全対策	訓練時における安全管理	2	学校職員
指導技法	訓練実技	安全管理・訓練指導(AFT)	4	学校職員
	演習	実技・講義演習・訓練企画	18	
	課題研究	研修討議	1	
行事その他	式典	入校式・修了式	3	学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			32	

(7) ドローン講習

休 止

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
講義	基礎理論	ドローンとは	2	部外講師
		安全管理		
		ドローンに関する航空法		
		規制区域 電波に関すること		
実技	デモフライト	フライト準備 デモフライト	1	
	操縦訓練	離陸・着陸	3	
		上下・左右の移動		
		撮影方法 点検・整備		
行事その他	式典	入校式、修了式	1	学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			7	

(8) オフロードバイク講習

休 止

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
講義	基礎理論	オフロードバイクについて	1	部外講師
		車体構造、名称等		
		車体特性、オンロード車との比較		
		走行に関する注意点		
実技	運行前車両点検	運行前車両点検、運転姿勢・乗降車 乗車時の装備	1	
	慣熟走行	準備運動、装備装着	4	
		発進停止と安全確認、慣熟走行		
		ブレーキング、コーナーリング 障害物等の段差越え		
行事その他	式典	入校式、修了式	1	学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			7	

5 消防団員教育

(1) 基礎教育

自 令和6年 2月19日(月)
至 令和6年 2月22日(木) (4日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
講話		職責と心構え	1	部外講師
訓練礼式	各個訓練	停止間・行進間の動作	3	学校職員
	通常点検	通常点検実施要領		
	敬礼動作	各個の敬礼・部隊の敬礼		
	小隊訓練	隊形編成と整頓・行進		
組織制度	消防団の概要	消防団の沿革と組織・消防団員の任免と階級	2	
	消防団の活動	消防団業務の内容・出動区分		
ポンプ操法	放水訓練	水利部署と吸水要領(AFT)	4	
	消防ポンプ操法の概要	消防ポンプ自動車操法・小型操法		
火災防ぎよ	概要	火災の意義・火災防ぎよ戦術の原則	2	
防災	災害対策	災害対策基本法と消防団の役割	4	
	現場活動要領	地域特性に応じた災害防ぎよ活動の原則		
救急救助	救急法	心肺蘇生法・搬送法	4	
	救助法	救助資機材取扱い		
緊急自動車運行管理	道路交通法	緊急自動車の交通法	1	
	道路運送車両法	点検及び整備		
安全管理	危機予知訓練	消防団活動に伴う危険要因	1	
行事その他	式典	入校式、修了式	2	
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			24	

(2) 幹部教育指揮幹部科

自 令和6年 3月 5日(火)
至 令和6年 3月 7日(木) (3日間)

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
講話	講話	指揮者としての職責と心構え	1	部外講師
組織制度	組織制度	消防団組織の現況 消防団の充実強化及び活性化対策、事例		
安全管理	安全管理	消防団活動に伴う危険要因	2	学校職員
		消防団活動に係る自己予防対策		
		災害現場等における事故発生時の措置		
		安全管理事例		
防災	防災	災害対策基本法と消防団の役割	1	
		長期化活動対策	2	
		惨事ストレス対策		
	地域防災指導訓練	初期消火及び簡易的な救助の指導方法		
火災防ぎょ訓練	現場指揮	現場指揮の重要性と効果 現場指揮要領と留意点	4	
	火災防ぎょ訓練	大規模地震発生時における指揮要領、 延焼拡大防止措置(AFT)		
救助・救命訓練	救命訓練	救命と応急手当要領	2	
	救助訓練	倒壊家屋等からの救助と指揮要領	3	
	災害情報収集・伝達訓練	他機関と連携した搜索活動、情報収集・ 伝達等の情報共有		
		検索救助活動における活動標示の活用		
災害図上訓練	災害対応図上訓練	分団本部活動・管理運営要領	4	
		部隊等の安全管理		
		災害情報収集・伝達等の情報共有		
		他機関との連携		
訓練礼式	小隊訓練	訓練礼式指導要領	1	
行事その他	式典	入校式、修了式	2	
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			22	

(3) 特別教育女性団員課程

休 止

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
講話		職責と心構え	1	部外講師
訓練礼式	各個訓練	停止間・行進間の動作	2	学校職員
	通常点検	通常点検実施要領		
	敬礼動作	各個の敬礼・部隊の敬礼		
	小隊訓練	隊形編成と整頓・行進		
予防	火災予防	査察要領・防火指導要領・住民指導	2	
防災	災害図上訓練	災害時における消防団の活動	6	
救急	救急法	心肺蘇生法・搬送法	2	
安全管理	安全管理	消防団活動時に伴う危険要因	1	
行事その他	式典	入校式、修了式	2	
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			16	

(4) 特別教育ドローン講習

休 止

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師	
講義	基礎理論	ドローンとは	2	部外講師	
		安全管理			
		ドローンに関する航空法			
		規制区域 電波に関すること			
実技	デモフライト	フライト準備 デモフライト	1		
	操縦訓練	離陸・着陸 上下・左右の移動 撮影方法 点検・整備	3		
行事その他	式典	入校式、修了式	1		学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション			
合 計			7		

(5) 特別教育オフロードバイク講習

休 止

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
講義	基礎理論	オフロードバイクについて 車体構造、名称等 車体特性、オンロード車との比較 走行に関する注意点	1	部外講師
実技	運行前車両点検	運行前車両点検、運転姿勢・乗降車 乗車時の装備	1	
	慣熟走行	準備運動、装備装着 発進停止と安全確認、慣熟走行 ブレーキング、コーナーリング 障害物等の段差越え	4	
行事その他	式典	入校式、修了式	1	学校職員
	その他	学生心得、オリエンテーション		
合 計			7	

6 MC 関係特別教育

(1) ビデオ硬性挿管用喉頭鏡救命士認定講習

- 第1回 令和5年 7月27日(木) (1日間)
- 第2回 令和5年 7月28日(金) (1日間)
- 第3回 令和5年11月 9日(木) (1日間)
- 第4回 令和5年11月10日(金) (1日間)

教科目		主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
気道の解剖と喉頭鏡の構造		気道の構造とビデオ硬性挿管用喉頭鏡の構造等	1	MC医師 MC推薦医師 学校職員
ビデオ喉頭鏡の実際		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管の準備、気管挿管プロトコル	1	
		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管に伴う危険因子等	1	
想定シミュレーション		挿管人形を用いたトレーニング実習	1	
事例提示		事例提示によるシミュレーション実習	2	
試験		筆記試験・実技試験	1	
行事その他	式典	開講式、閉講式	1	
	その他	オリエンテーション		
合 計			8	

(2) 処置拡大2行為講習

- 第1回 令和5年 5月16日(火) ~ 5月19日(金) (4日間)
- 第2回 令和5年 6月27日(火) ~ 6月30日(金) (4日間)
- 第3回 令和5年 7月11日(火) ~ 7月14日(金) (4日間)
- 第4回 令和5年 8月 1日(火) ~ 8月 4日(金) (4日間)
- 第5回 令和5年11月14日(火) ~ 11月17日(金) (4日間)

教科目		主眼とすべき教育内容	時間数	教育予定講師
オリエンテーション			1	MC医師 MC推薦医師 学校職員
試験		薬剤投与に関する基礎知識、手技の確認(プレテスト)	2	
MCと救急救命処置		メディカルコントロールとオンラインでの傷病者情報の効率的な伝達 状況の伝達と指示要請	1	
糖尿病、低血糖の病態と治療(血糖降下療法など)		生体におけるブドウ糖の役割と代謝 糖尿病の病態と治療(血糖降下療法など)	2	
糖尿病、低血糖の病態と治療		低血糖の病態と対応 高血糖の病態と対応 ブドウ糖の投与と合併 (ブドウ糖の投与と合併症) 意識障害をきたす疾患とその鑑別 (意識障害をきたす疾患とその鑑別) (血糖の測定の目的と測定方法)	1	
		処置拡大の変遷と新たな処置拡大についての概要	1	
救急救命処置の変遷		処置拡大の変遷と新たな処置拡大についての概要	1	
病院前医療における医療倫理		傷病者への説明と医療倫理について(傷病者への説明と同意の取得)	1	
血糖測定に関する基本的手技 血糖測定の原理		機器取り扱いの実際 血糖測定の手技の実際	1	
静脈路確保と輸液に関する基本的手技		心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実際 ブドウ糖溶液の投与の実際 静脈確保と輸液でのトラブルに対する対応	2	
ショックの病態と治療		各種ショック等の病態と治療(ショック、クラッシュ症候群の病態と治療) ショックの原因別の分類・鑑別と輸液の効果 (ショックの鑑別と輸液の効果)	4	
血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与のシナリオ訓練		(意識障害の鑑別と血糖測定等のプロトコルの実施)	6	
教育内容の習得状況の確認		(筆記試験)	1	
心肺機能停止前の静脈路確保と輸液のシナリオ訓練		ショックの判断、病態の鑑別とプロトコルの実施	6	
教育内容の習得状況の確認		(実技試験)各処置の実技試験 想定事案へのシミュレーション試験	4	
合 計			32	